

令和5年度の実績及び 令和6年度の内容について

青森県

令和5年度の取組状況

区分	取組事項	開催時期	取組内容
推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回青森県農福連携推進会議 ● 第2回青森県農福連携推進会議 	10/31 2/8	・青森県農福連携推進方策と施策の検討
	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回農福連携調整会議（庁内4部庁） ● 第2回農福連携調整会議（庁内4部庁） ● 第3回農福連携調整会議（庁内4部庁） ● 第4回農福連携調整会議（庁内4部庁） 	8/22 10/11 12/12 1/15	・青森県農福連携推進方策の作成と農福連携に係る施策の企画・調整
	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1回青森県農福連携推進方策策定専門部会 ● 第2回青森県農福連携推進方策策定専門部会 	9/8-19 12/26-28	・オンライン開催等によりアドバイザーから青森県農福連携推進方策に係る意見を聴取
	<ul style="list-style-type: none"> ● チャレンジ農福等取組の情報発信 	8～2月 予定	・チャレンジ農福の実施内容をJ A広報、新聞等で周知（22回）
1 農福連携の認知度向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地域現地検討会の開催 	10～12月	・チャレンジ農福実施ほ場等で、農協部会員を参集し取組内容を紹介（5回）
	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者就労施設・農業者の優良事例の紹介 	3月予定	・補助事業活用事例等を含めた取組事例をHP等で紹介
	<ul style="list-style-type: none"> ● 農福連携に取り組むためのテキストブックの作成 	1月	・農福連携への取組に当たり必要な内容等をまとめたテキストブックを作成
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各地域農福連携連絡会議の開催 	7～2月	・ワンストップ窓口の整備強化のため地域段階のネットワークを強化（8回）
2 農福連携に踏み出すきっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 就労継続支援B型事業所データベースの活用 	随時	・作成したデータベースを元に、各地域のマッチングや各種情報提供に活用

区分	取組事項	開催時期	取組内容
2 農福連携に 踏み出すきっ かけづくり	● チャレンジ農福の実施	7～1月	・農協部会員等のほ場で、障がい者と施設職員のユニットによる農作業を試す取組を農協への委託により実施（47件）
	● 農業ジョブトレーナー養成研修の開催	1/25-26	・農業側と福祉側両方の知識を持つジョブトレーナーを養成するための研修を複数回実施（ハイブリット開催）
	● 主要品目における農作業の切り出しの検討	7～9月	・福祉事業所等の協力を得て、障がい者が実施可能な人にくく作業の切り出し
3 農福の輪の 拡大	● ノウフクマルシェ（農福連携マルシェ）	8～2月	・6障がい福祉圏域で、ノウフク商品を展示・販売 ・生協で農業者が農福連携に取り組み生産したノウフク商品（小玉すいか等）を販売
	● ノウフクJASセミナー	1/25	・ノウフク商品の販売力を高めるため、ノウフクJASの活用事例等について学ぶ
	● 障害者雇用事業所見学会・意見交換会【農業部門】	11/10	・日本ホワイトファーム（株）で見学会・意見交換を実施
	● 特別支援学校と農業高校の農業実習交流	7/10	・弘前第一養護学校と柏木農業高校とミニトマト収穫作業による農業実習で交流
	● 青森県特別支援学校技能検定・発表会の職業技能部門【農業分野】の実施	10/25	・特別支援学校生徒の農業への関心と技能の向上のため、ミニトマト、じゃがいもの選果調整に係る技能検定を実施
	● 特別支援学校と農業関係者の座談会	12/19	・6教育事務所管内の特別支援学校を会場に、農業者、生徒、教員等を対象とした講演と意見交換会を実施

<農林水産部> チャレンジ農福

●取組の概要

- ・農協生産部会の代表者等と福祉事業所を利用している障がい者ユニットをマッチングし、障がい者が取組可能な農作業について検討し、実施。その取組を現地検討会や広報等を活用して地域の農業者に広く周知する。

●取組の結果

- ・大豆の除草、にんにくの種こぼしなど、障がい者が取り組みやすい作業で県内47件実施。取組は農協広報や新聞で周知した。農業者に対して「農福連携」を更に周知するため、今後も継続して実施する。

地域	実施主体	件数	作業内容
東青	J A 青森	7	カシス収穫、りんご落果収穫 等
中南	J A つがる弘前	3	ねぎ除草、にんにく芽出し
	J A 相馬村	4	りんご摘果・摘葉
	J A 津軽みらい	3	にんにく収穫・出荷調整
三八	J A 八戸	8	にんにく植付け、種こぼし 等
西北	J A ごしょつがる	4	すいか・トマト収穫後の片付け 等
	J A つがるにしきた	4	大豆除草
上北	J A 十和田おいらせ	4	ねぎ出荷調整、にんにく種こぼし 等
	J A ゆうき青森	3	にんにく茎切り 等
	J A おいらせ	3	ごぼう収穫・選別
下北	J A 十和田おいらせ	4	さつまいも収穫・調整 等
合計		47	



J A 青森
りんご拾い



J A つがる弘前
ねぎ除草



J A 相馬村
りんご摘果



J A ごしょつがる
ミニトマト片付け



J A つがるにしきた
大豆除草



J A 八戸
にんにく植付け



J A 十和田おいらせ
にんにく種こぼし



J A ゆうき青森
にんにく茎切り



J A おいらせ
ごぼう収穫



J A 十和田おいらせ
さつまいも収穫

<農林水産部> 農業ジョブトレーナー養成研修 ノウフクJASセミナー

ノウフク

●取組の概要

- ・農業側と福祉側それぞれの知識を有する農業ジョブトレーナーを養成するための研修を開催。あわせて、ノウフクJAS制度や障がい者への支援方法を学び、実践者の事例を通じて農福連携についての理解を深める。

●取組の結果

- ・福祉事業所や農協職員、農業者、行政担当者ら93名（延べ）が参加。農業ジョブトレーナー育成確保とノウフクJASの拡大に向け、今後も継続して実施する。

内容	テーマ	講師・発表者
講義	ノウフクJASの基礎と活用事例について	一般社団法人日本基金 理事 木下 卓 氏 <ノウフクJASセミナーとして実施>
講義	障がい者雇用の留意点と支援について	青森障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 西脇 昌宏 氏
講義	農業ジョブトレーナーの役割について	東青地域県民局地域農林水産部 農業普及振興室主幹 吉川 育子 氏
事例紹介	弘前市における農福連携の取組推進について	弘前市農政課 地域経営係主事 馬場 翼 氏
事例紹介・現地研修	にじのいろにおける農作業受託とノウフクJASの取得について	就労継続支援A型事業所 にじのいろ 管理者 白川 恵 氏



<健康福祉部> ノウフクマルシェ



●取組の概要

- ・障がい者の職域拡大や収入増加、農福連携の取組の周知等を目的として、農業に取り組む障害者就労施設等で生産された商品を販売するマルシェを開催するもの。平成28年度から開始し、令和5年度は6圏域で実施。

●取組の結果

- ・各事業所が一堂に会して商品を販売することで、より多くの集客、売上につながっているほか、農福連携による商品の認知度向上、工賃向上が図られる。

<今年度の開催状況>

圏域	実施主体	開催日	開催地
東青	(社福) 青森県 すこやか福祉事業団	10/4 11/4~5	サンロード青森
中南	(社福) 阿闍羅会	10/8~9	イオンタウン弘前樋ノ口
三八	(社福) ユートピアの会	9/30 10/22 11/18 2/21 (予定)	ピアドゥ はちのへホコテン ショッピングセンターラピア ショッピングセンターラピア
西北	(社福) 愛生会	8/26	JAごしょつがる グローバル ライス
上北	(社福) 求道舎	10/29	道の駅しちのへ
下北	(社福) 桜木会	9/10 10/8	ミルク工房ボン・サーブ

「農業」と「福祉」が
つながって、
日本を元気に!

農福連携マルシェ2023
ノウフクマルシェ
令和5年 10月8日(日)~10月9日(月)祝 9:00~17:00

場所 イオンタウン弘前樋ノ口
ライトオン前特設会場

「農業」と「福祉」の連携は、農産物の産地や生産者の困りごとを解決し、消費者の健康や食生活の向上に貢献することによって、両者のつながりが生まれる。また、農産物の産地や生産者の困りごとを解決し、消費者の健康や食生活の向上に貢献することによって、両者のつながりが生まれる。また、農産物の産地や生産者の困りごとを解決し、消費者の健康や食生活の向上に貢献することによって、両者のつながりが生まれる。

「ノウフクマルシェ」は、そんな「農業」と「福祉」の連携で生まれた、地域の農産物や加工品を
広げながら、お楽しみいただけるイベントです。

青森県

中南圏域

「農業」と「福祉」が
つながって、
日本を元気に!

「農産物」の
出がけよう!

にむすび町へ
出かけよう!

ノウフクマルシェ
11/18 sat in はちまるでtoて ラピア会場
10:00~16:30

ここでしか買えない
商品盛りだくさん!

お野菜ハルーン
抽選会!!

小売商品

「ノウフクマルシェ」
「農業」と「福祉」の連携で生まれた、地域の農産物や加工品を
広げながら、お楽しみいただけるイベントです。

青森県

三八圏域



<農林水産部>青森県民生協同組合によるノウフク商品の販売

ノウフク

●取組の概要

・農福連携に取り組む農業者が生産したノウフク商品を、青森県民生協全店舗で販売。

●取組の結果

・小玉すいかとミニ白菜を販売し、消費者への農福連携の周知を図った。今後は、商品数を拡大していく。

<今年度の開催状況>

開催日	商品	生産者
8/9~15	小玉すいか	阿部農園 (五所川原市)
11/18,25,12/2	ミニ白菜	はる農園 (五戸町)



小玉すいか (あじさい館)



ミニ白菜 (あじさい館)

コープの
**おいしい
ものがたり**

食べることの
楽しさ
生産者の想いを
伝えます

ノウフク 阿部農園の 小玉すいか「姫甘泉」

生産者
阿部啓子さん



青森県五所川原市、ほんじゅ山のふもと、
国史跡である北限の「須恵器窯跡群」がある
地域で栽培しています。
農薬と化学肥料を極力使用せず、
安全と安心と美味しさをお届けします。



「姫甘泉(ひめかんせん)」の特徴



- サイズが1kg~1.4kgと小ぶりですが、大玉すいかと同様なシャリシャリとした食感が味わえます。
- 果皮が薄いので皮際まで甘く、種子が少ないので食べやすいのが特徴です。
- 冷蔵庫にピッタリと入る食べ切りサイズで、糖度は12度~14度と甘さも十分です。

農福連携(ノウフク)とは
農業側では担い手不足の、福祉側では職域・資金不足の課題がある中で、農業と福祉が連携し、障がいのある方をはじめ、より多くの方々が農業分野で活躍することを通して、農業経営の発展とともに障がい者等が自信や生きがいを持って社会参画していく取組です。
青森県でも10年ほど前から推進されており、農業と福祉のマッチング支援や、消費者等知ってもらうためにノウフク商品を販売する「ノウフクマルシェ」を開催しています。



コープの
**おいしい
ものがたり**

食べることの
楽しさ
生産者の想いを
伝えます

ノウフク はる農園の ミニ白菜

生産者
青森の2人夫妻



青森県三戸郡五戸町倉石地区で栽培しています。
2011年から、すべての畑で除草剤などの
農薬・化学肥料は一切使用せず、
無肥料・または緑肥・有機肥料で栽培しています。

はる農園のミニ白菜の特徴



- 小ぶりで大変やわらかくおいしい。
- 有機栽培ですが、捨てる所がほとんどありません。
- 鍋はもちろんですが、サラダで食べるのが香さんいちおし!

ドレッシング和え



白菜とりんごの
シーザーサラダ



白菜と沢庵のサラダ



農福連携(ノウフク)とは
農業側では担い手不足の、福祉側では職域・資金不足の課題がある中で、農業と福祉が連携し、障がいのある方をはじめ、より多くの方々が農業分野で活躍することを通して、農業経営の発展とともに障がい者等が自信や生きがいを持って社会参画していく取組です。
青森県でも10年ほど前から推進されており、農業と福祉のマッチング支援や、消費者等知ってもらうためにノウフク商品を販売する「ノウフクマルシェ」を開催しています。



香さんと
スタッフの方々

●取組の概要

・障がい者雇用の促進を図るため、県内事業所の経営者等を対象として、平成24年度から県が開催している。

●取組の結果

・今年度は県内2事業所で開催し、32名が見学会に参加した。県内事業所における障がい者の雇用促進を図るため、障がい者を雇用している企業の見学会を等のPR活動を実施していく。

<今年度の開催状況>

回次	開催日	見学事業所	参加者数
第1回	10/26	八戸東洋株式会社	17名
第2回	11/10	日本ホワイトファーム株式会社 東北事業所	15名

<事業所外観>



<主な商品>



日本ホワイトファーム株式会社 東北事業所

- 設立：昭和56年12月
- 所在地：上北郡横浜町
- 代表者：代表取締役社長 朝山 晃行
- 従業員：582名（うち障がい者12名）
※東北事業所のみ
- 事業内容：鶏の育成、鶏肉の処理・加工

雇用している障がい者の内訳

- 身体障がい者：4名
 - 知的障がい者：7名
 - 精神障がい者：1名
- ・雇用前に工場見学及び4日～10日程度の現場実習を実施。
・その後、面接を行い、入社から3か月間の試用期間を経て、正式に採用となる。

<障がい者の作業風景>



※上記画像の無断使用禁止

<特別支援学校技能検定・発表会[※]での農業分野検定>

●取組の概要

- ・特別支援学校技能検定・発表会の**職業技能部門に農業分野を新設、今年度から検定を実施**
- ・ミニトマト及びじゃがいもの選果作業及びパック、袋詰め作業を検定
- ・検定内容に係る学習用物品を事前に各校へ配布
- ・伝達講習会において農業分野担当校から各校へ検定内容を伝え、ワーキングチーム会議では、農林水産政策課から審査及び運営に関する助言をいただいた。



伝達講習会



農業分野検定

●取組の成果

- ・検定には14名が受検
- ・1級5名、2級6名、3級2名、4級1名の級認定を受けた。
- ・農業分野へ関心をもつ生徒に対し、日頃の学習が確かな技能の定着に結びついている。

※特別支援学校技能検定・発表会とは

- ・地域の企業等との連携・協働により、県立特別支援学校高等部生徒が「夢や志」をもち、チャレンジする心を育むために、平成28年度に第1回大会を開催し、今年度は**10月25日**に**第7回**大会をマエダアリーナ等で開催した。
- ・**職業技能部門**（清掃、接客サービス、PC入力、**農業**）と**コミュニケーション部門**（プレゼンテーション・ポスター発表、パフォーマンス発表）の2部門6分野からなる。

<特別支援学校と農業関係者との座談会>

● 取組の概要

<第1部>

- ・ 特別支援学校に関する概要説明と関係部局からの情報提供
- ・ 青森第二高等養護学校卒業生と（株）アップルヒル、同校教員による座談会

<第2部>

- ・ 特別支援学校と農業者の座談会及び情報交換会（県内6会場別実施）

東青：二高養 西北：森田養 中南：弘一養 上北：七戸養 下北：むつ養 三八：八高支

第1部（東青：青森第二高等養護学校）



第2部（三八：八戸高等支援学校）



● 取組の成果

- ・ 総勢113名が参加（令和4年度は105名）
- ・ 学校、就職者本人、雇用する側それぞれの思いを知ることができる機会となった。
- ・ 各地域の特性や課題を共有でき、関係機関とのさらなる連携の必要性を確認できた。

令和6年度の取組計画

区分	取組事項	所管	取組内容
推進会議	● 青森県農福連携推進会議	関係部庁	・ <u>市町村の取組状況調査を実施</u> し、地域差の解消及び今後の取組方向性を検討
	● 農福連携調整会議（庁内4部庁）	関係部庁	・ 農福連携に係る施策の企画・調整
1 農福連携の理解促進	● チャレンジ農福等取組の情報発信	農林水産部	・ チャレンジ農福の実施内容をJ A広報、新聞等で周知
	● <u>農業者と農業団体及び福祉事業所との交流会の開催</u>	地域県民局	・ <u>農作業需要と福祉事業所で受託可能な作業を整理し、お互いのニーズを共有</u>
	● チャレンジ農福の実施（ <u>水福、林福の取組拡大</u> ）	地域県民局	・ 農業者等のほ場で、障がい者と施設職員のユニットによる農作業を試す取組を農協等への委託により実施
	● 各地域現地検討会の開催	地域県民局	・ チャレンジ農福実施ほ場等で、農協部会員を参集し取組内容を紹介
	● <u>ユニバーサル農業の検証</u>	農林水産部	・ <u>農福連携実践者を対象に、作業工程の細分化や治具等の改良を検討</u>
	● 障害者就労施設・農業者の優良事例の紹介	農林水産部	・ 補助事業活用事例等を含めた取組事例をHP等で紹介
	● 各地域農福連携連絡会議の開催	地域県民局	・ ワンストップ窓口の整備強化のため地域段階のネットワークを強化
2 農福連携を進める体制づくり	● <u>ワンストップ窓口の運営支援</u>	農林水産部	・ <u>マッチング機能を強化するため共同受注窓口に対する活動費を支援</u>

区分	取組事項	所管	取組内容
2 農福連携を進める体制づくり	● 農業ジョブトレーナー養成研修の開催	農林水産部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業側と福祉側両方の知識を持つジョブトレーナーを養成するための研修を複数回実施（WEBでの受講も可能） ・ 福祉事業所を対象に農作業体験の実施
	● 農福連携技術支援者育成研修への派遣	農林水産部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が主催する研修に県担当者を派遣
	● <u>コーディネーター養成研修の開催</u>	農林水産部	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>マッチング実務能力を向上するためコーディネーター養成研修を実施</u>
3 農福連携の輪の拡大	● 特別支援学校技能検定・発表会の職業技能部門【農業分野】の実施	教育庁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校生徒の農業への関心と技能の向上のため、ミニトマト等の選果調整に係る技能の検定を実施
	● ノウフクマルシェ（農福連携マルシェ）	健康福祉部 農林水産部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉事業所がメインとなり、ノウフク商品を展示・販売 ・ スーパーにおいて、農業者のノウフク商品を展示・販売
	● <u>農業高校と特別支援学校の農業交流への支援</u>	農林水産部	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>生徒の農福連携に対する理解を深めるための農業交流を支援</u>
	● ノウフクJASセミナー	農林水産部	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノウフク商品の販売力を高めるため、ノウフクJASの活用事例等について学ぶ
	● 障がい者雇用への理解促進と雇用拡大に向けた企業向けPR活動【農業部門】	商工労働部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の雇用促進を図るため、障がい者を雇用している企業の見学会等
● 特別支援学校と農業関係者の座談会	教育庁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内6地区の特別支援学校を会場に、農業者、生徒、教員等を対象とした講演・意見交換会を実施 	